



使用例

作物名		肥効	希釈倍数	使用時期	使用回数
果樹	ぶどう (巨峰・ピオーネ)	着色促進及び品質向上	300倍	着色初期	1回
			500倍	1回目 着色初期 2回目 1回目の 7~10日後	2回
	かき	品質向上、樹上軟化抑制 及び収穫後の日持ち向上	500~1000倍	収穫開始予定 40日前、20日前	
				収穫開始予定 30日前、10日前	
	なし	果実肥大向上 品質向上 樹勢回復	500倍	満開後30日おきに 満開後10日おきに	3回
				収穫開始予定 50日前、30日前	2回
	いちじく	収量増加及び熟期促進	300~500倍	夏期(7~8月)に 10~15日間隔	3回
みかん デコポン	樹勢回復及び発根促進	剪定後又は被覆除去後		2~3回	
ハウスみかん	樹勢回復	1000倍	剪定後		
根菜 果菜 葉菜	しょうが にんにく	肥大促進	300~500倍	主茎10~12葉期	2回
				球肥大初期	1回
	さといも	増収(子いも、孫いも)	300倍	親株5~7葉期	2~3回
	果菜類	収量増加及び品質向上	300~500倍	定植直後より 20~25日間隔	
				定植後の活着促進 及び発根促進	
いちご	なり疲れ防止	500倍	2~3月	2~3回	
茶	樹勢回復及び品質向上	500~1000倍	秋期(整枝後)	1回	
		300倍	1芯1~2葉期		
たばこ	品質向上 収量増加	300~400倍	芯止5~7日前後に葉面散布 (7日間隔)	1~2回	





使用上の注意

- 石灰硫黄合剤などの強アルカリ性農薬や重金属入り農薬とは混用しない。
- 農薬と混用する場合は、その使用農薬ラベルに記載されている注意事項（薬害）を守る。
- りんご（つがる）には、落果防止剤との混用はしない。

治 療 法…該当なし

魚毒性等…該当なし

保 管…密栓し、直射日光をさけ、食品と区別する。長期間、マイナス10℃以下の場所に置かない。（結晶折出）

PRTR法 ●空容器は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理する。

